

## 2002年3月の大気大循環と世界の天候

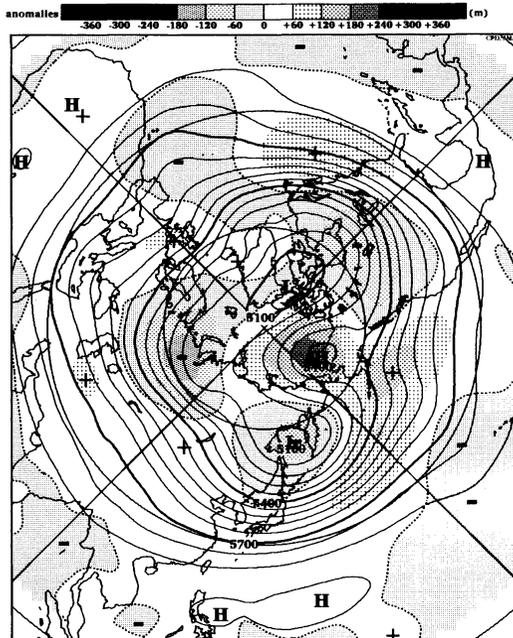
### 大気大循環

北半球500 hPa 高度では、高緯度域は波数3の波が卓越し、カナダ、西シベリア、オホーツク海付近で負偏差となった。アラスカの北ではブロッキング高気圧に伴い顕著な正偏差となった。平年では北アメリカ大陸西岸に位置するリッジがアラスカの南まで西偏した。一方中緯度域は、2002年1月から引き続き広く正偏差に覆われた。偏西風では、北アメリカのジェットが大幅に北偏していた。

対流活動は、フィリピンの東海上、ニューギニア島から日付変更線付近にかけての西部太平洋赤道域と東部太平洋赤道域では平年よりも活発、スマトラ島からジャワ島、オーストラリアの北部にかけては平年よりも不活発だった。南アメリカ北部では平年よりも活発、その南側のブラジル中部付近では不活発となった。インド洋および大西洋では平年よりも活発、アフリカでは平年よりもやや活発だった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、大規模発散域の中心は、ニューギニアの東にあり、ほぼ平年の位置にみられた。

SOI (南方振動指数) は -0.2 で、ほぼ平年並だった。



2002年3月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

### 世界の天候

#### ① アラスカから東シベリアの高温

#### ② 日本から中国東部の高温

中国のペキン（北京）や韓国では、過去十数年で最大規模の黄砂に見舞われたと報じられた。

#### ③ マレーシアからインドネシアの高温

月平均気温はマレーシア、インドネシアで高く、一部で異常高温となった。

#### ④ 西シベリアの多雨

#### ⑤ 中央アジアの高温

#### ⑥ サウジアラビア周辺の高温

#### ⑦ アルジェリアからチュニジアの高温

#### ⑧ 米国中西部からカナダ南部の低温

米国中西部では上旬から中旬にかけ、大雪や吹雪に見舞われ、積雪に伴う交通事故などによる死者や交通障害などが繰り返し報じられた。

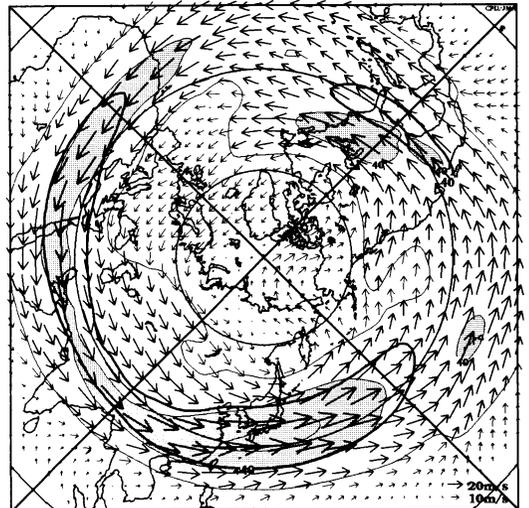
#### ⑨ アルゼンチン北東部の多雨

上旬にアルゼンチンの首都ブエノスアイレス西方の町で大雨による洪水の被害が報じられた。

#### ⑩ オーストラリア北部の少雨

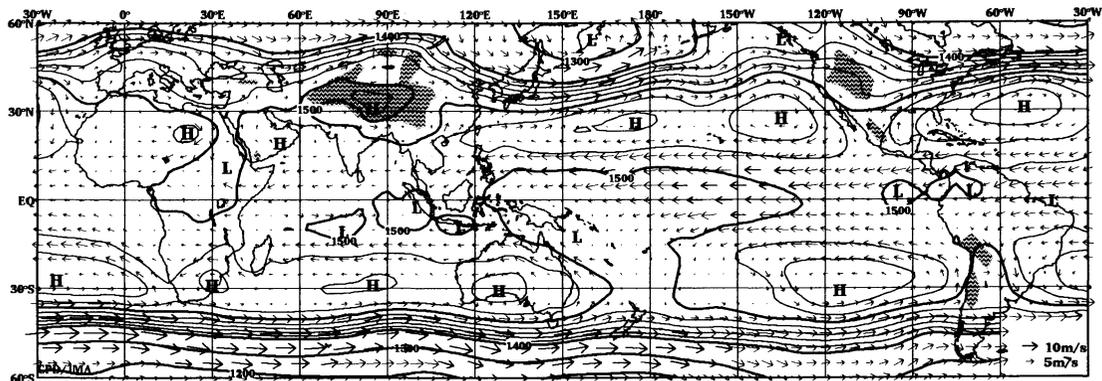
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 村上喜章)

2001年4月から9月までと、2001年11月から2002年1月までについての記事（掲載号は各2か月遅れ）の中に記述したSOI（南方振動指数）の値に誤りがありました。詳しくは453ページ「訂正」をご参照下さい。長期間にわたる誤りをお詫び致します。

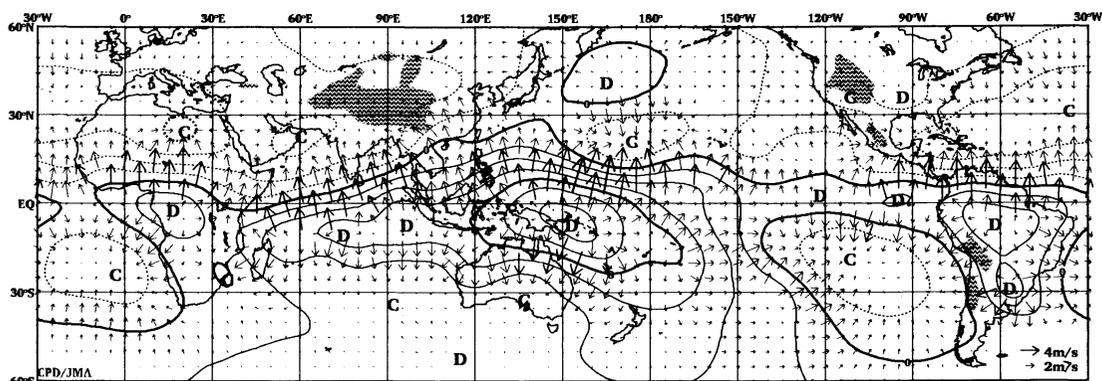


2002年3月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

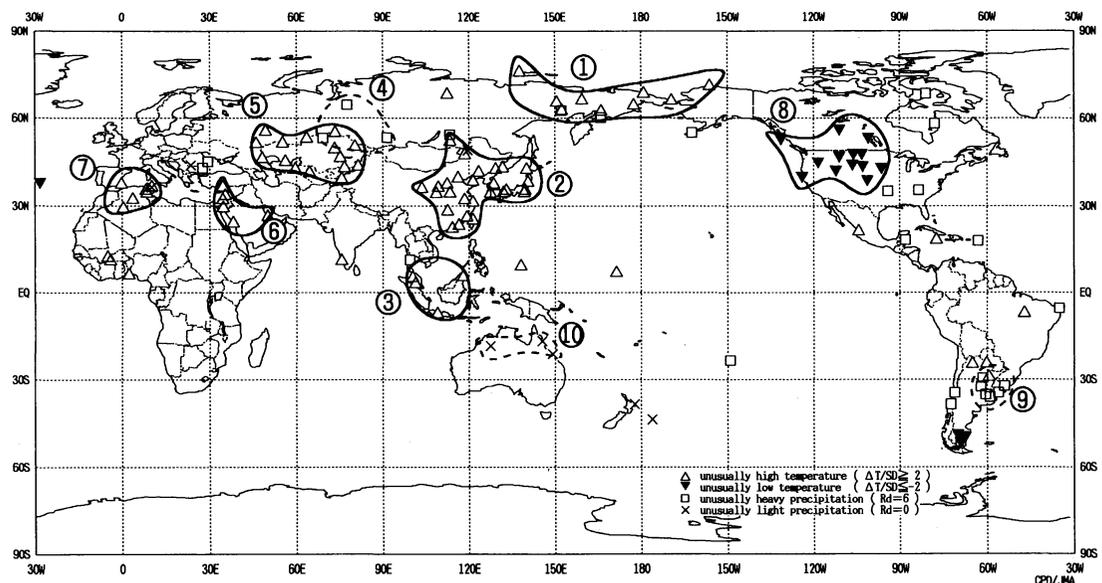
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は40 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の40 m/s以上の領域を示す。平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2002年3月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2002年3月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は  $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2002年3月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.